

金沢大学つるま保健学会誌

投稿規程

(投稿資格)

1. 投稿資格者は、次のとおりとする。

- 一、つるま保健学会会則第5条第2項各号に定める者
- 二、その他、つるま保健学会誌（以下「会誌」という）編集委員会が特に認めた者（脚注）

(投稿の制限)

2. 原稿は、未発表のものに限る。

(投稿の種類)

3. 原稿は、邦文及び欧文の原著、短報及びその他とし、次の内容に該当するものでなければならない。

なお、原著の長さ及び引用文献・図表等の記載方法は、別紙執筆要領のとおりとする。

- 一、原著 独創性のある結論の明確な論文及び、学術的な価値が高いと、会誌編集委員会が認めた論文。
- 二、短報 独創的であるが断片的な研究で、研究方法、操作、技術、装置の改良、新しい試み、あるいは応用等に関し簡単に表現したもの。
- 三、その他 研究、技術に関する参考資料及び解説・調査・集計・報告・症例報告等。

(倫理規定)

4. 人を対象とした研究では、ヘルシンキ宣言に基づき国および所属機関等の定める倫理指針を遵守し、倫理的に十分に配慮された内容でなければならない。動物を対象とした研究では、動物の保護および管理に関する指針の趣旨に沿ったものとする。また、その旨を本文中に明記すること。

(受付期間)

5. 受付期間は、別に定める。

(提出先)

6. 原稿（原本1部、写3部）には、別紙の投稿届を添えて、会誌編集委員長に提出するものとする。

(原稿の採否)

7. 原稿の採否は、会誌編集委員会が決定する。

(校正)

8. 著者校正は再校までとし、校正刷を受領後3日以内に校正のうえ会誌編集委員長に提出しなければならない。
なお、校正時における原稿の変更は認められない。

(著作権)

9. 本誌に掲載された論文等の著作権はつるま保健学会に帰属する。

(発行)

10. 会誌は、年2回（8月、2月）発行する。

(脚注) 「会誌編集委員会が特に認めた者」の目安は、本会を定年あるいは異動により退職した教職員並びに金沢大学医療技術短期大学部、金沢大学医学部保健学科、金沢大学医薬保健学域保健学類、金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻及び金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻を卒業又は修了した者（なお、本学系教職員が共著者として含まれることが望ましい）また、金沢大学大学院医薬保健総合研究科保健学専攻（博士後期課程）における論文提出による博士の学位申請取扱いに関する内規の第2条の要件を充たす者とする。

平成25年 8月1日 改定

金沢大学つるま保健学会誌

執筆要領

1. 投稿する論文は、独創的で学術的な価値が認められるものでなければならない。
また、国内外を問わず、他誌に掲載されたもの、掲載予定のもの、自らあるいは第三者のホームページに掲載または掲載予定のものは投稿できない。
2. 原稿の長さは、原則として以下のとおりとする。

原著：	邦文原稿	10000 字以内	図表を含まない
	欧文原稿	5000 語以内	図表を含まない
	(ただし、人文・社会科学系については邦文原稿 20000 字以内、欧文原稿 10000 語以内とする。)		
短報,その他：	邦文原稿	4000 字以内	図表を含まない
	欧文原稿	2000 語以内	図表を含まない
3. 欧文原稿は A 4 版サイズの用紙に周囲 3 cm の余白をのこしてダブルスペースで印字する。邦文原稿でワープロ使用の場合は 700 字程度 (例：35 字×20 行) を A 4 版サイズの用紙に印字し、手書きの場合は 400 字詰め原稿用紙を用いる。
4. 原稿の表紙には、表題、著者名、所属の順に記載し、欧語で 5 個以上のキーワードをつける。欧文の場合、タイトルは、固有名詞や記号等を除き、最初の 1 文字のみを大文字で記す。氏名の表記は名、姓の順とする。著者の所属の表記は筆頭者の場合無記号、共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に*、** 印をつける。
また、筆頭著者の連絡先を記載する。
5. 邦文原稿には欧語の表題、著者名、所属をつける。欧文原稿には邦語の表題、著者名、所属をつける。
6. 原著には 400 語程度の欧文の要旨、および 600 字程度の邦文の要旨をつける。
7. 邦文原稿は原則として常用漢字、ひらがな、現代かなづかいを用い、外国語固有名詞 (人名など) は原語を、一般に日本語化された外国語は片かなを用いる。
欧文原稿は当該国人が読んで、正確、明解に理解できるものでなければならない。
また、学位申請論文については、欧文校正責任者の証明書を付けること。
8. 度量衡は、国際単位など汎用されているものを使用する。
9. 論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。
大項目——無記号で上を 1 行開け、行の第 2 字目に記す。
はじめに (Introduction), 方法 (Methods), 結果 (Results), 考察 (Discussion), 文献 (References) などが相当する。
小項目——1., 2. として上下を開けずに行の第 2 字目に記す。続いて 1), 2) として行の第 2 字目に記す。
10. 図 (Figure) および表 (Table) にはそれぞれ別の通し番号をつける。
11. 邦文原稿のとき図表のタイトル、説明は日本語、外国語のいずれかに統一する。
12. 写真はキャビネ大の印画紙 (12cm × 16.5cm) に焼き付け、台紙に貼付する。
図表の通し番号を記入する。図表のタイトル、説明文はまとめて原稿の末尾につけ、原稿本文中の欄外余白部に挿入位置を朱記し明示する。
13. 写真は白黒のものとするが、カラー写真の掲載は著者負担とする。
14. 謝辞は本文の末尾に入れる。
15. 文献は引用順に配列し、本文の末尾に一括記載する。外国語文献はタイプする。
本文中の文献引用個所には著者名や引用文などの右肩に¹⁾・¹⁾・³⁾・⁶⁾・¹⁻⁵⁾のように記す。参考文献は記載しない。
16. 文献の記載様式は下記の要領に従う。
雑誌の場合
雑誌の略語は Index Medicus の様式に従う。
著者名は 3 名までは全員記載する。ただし、4 名以上の場合は 3 名連記の上、__, 他, あるいは__, et al とする。
欧文の記載では、コロン、カンマ、は半角を用いること。

文献記載方法の例

単行本 (発行場所の記載は外国の場合のみ)

吉田幸雄：図説人体寄生虫学 6 版，南山堂，pp_^20-33，_^2002
半角 半角

戸塚恭一，山浦常：NEW CHART 内科 (8) 感染症，医学評論社，pp_^227-231，_^2001
半角 半角

Churukain CJ: Microwave Ziehl-Neelsen Method for Acid-Fast Bacteria, Histotechnology ASCP Press, Chicago, _^pp_^184-185, _^1993
半角 半角 半角

雑誌

村山繁雄，斉藤祐子，金子和富，他：ブレインバンクの構築と課題，日老医誌 42:483-489, 2005

Murayama S, Saito Y: Neuropathological diagnostic criteria for Alzheimer disease. _^Neuropathology _^24:254-260, _^2004
半角 半角 半角

例

Moon A, Lawson K, Carpiac M, et al: Elder abuse and neglect among veterans in Greater Los Angeles prevalence, types and intervention outcomes. J Gerontol Soc Work 46: 187-204, 2006

分担執筆

山口晴保: Alzheimer 型痴呆, 神経病理学 (朝永政徳, 桶田理喜編), 朝倉書店, pp 166-172, 1992

著者は論文投稿時に表紙に本文の文字数 (邦文の場合は字数, 欧文の場合には words 数) と図表の枚数を記載すること。

17. 論文の記載様式が執筆要項と大きく異なる場合, 論文は受理されないことがある。

平成 17 年 6 月 一部改定
平成 18 年 6 月 一部改定
平成 19 年 1 月 一部改定
平成 21 年 1 月 一部改定